

# 独の大学研究員

## 楽器店視察

### 日本の老舗企業に興味

ドイツのヴイッテン・ヘルデッケ大学の女性研究員ジグレン・カスパリさん(56)が22日、ファミリービジネス(創業一族による経営)研究の一環で、明治期に創業したとされる浜松市中区の「菊岡楽器店」を視察した。5代目の女性店主菊岡真知子さん(74)に継承した経緯や店の経営に対する考え方などを直接聞き取った。

中区



店主の菊岡さん(右)の話を聞くカスパリさんと曾根教授(左)  
＝浜松市中区浅田町の菊岡楽器店

## 継承の経緯や思い聞く

日本は創業から100年以上の「長寿企業」が世界各国に比べて多いとされる。カスパリさんは

企業の名やブランドを守り維持する日本独特の家族文化やその背景に注目。ファミリービジネス

た。ただ、自分ができることをやると割り切り、助けを借りてやってきた」と振り返り、「楽器が好きという思いが店を続けられた一番の根っこ」と強調した。

1997年に急逝した父親の後を継ぎ、三味線や琴、太鼓などの販売・修理の仕事を切り盛りする菊岡さん。「父の仕事のやり方が良かったと離れていくお客さんも多い

曾根教授は日本に長寿企業が多い理由の一つを「職人仕事への敬意に加え、